

中滿地區愛路大會見聞記

副會員 今井 武夫*

康德10年9月9日突如として交通部次長名にて、濱江省北安省管内に關聯する、北安克山拜泉明水青岡陞西嶺東を結ぶ滿鐵自動車運行路線を撰定せられ、中滿地區愛路大會を9月24日より同月30日迄實施し右競技の視察を9月29日30日の兩日に亘り、交通部大臣、坂上技監、町田道路司長各閣下を始め交通部の各大官、三江省、東安省、牡丹江省、間島省、吉林省、濱江省、北安省、龍江省、興安東省の關係廳科長、滿鐵各關係者及愛路功勞者約80數名が28日迄に克山に集合して、北安濱江兩省の愛路作業状態を視察し30日哈爾濱にて愛路功勞者表彰式を舉行せらるるとの通知に接した。

擬て本年は雨多く特に9月に入つて15日間の雨天の爲相當路面も破損せられ、従つて滿鐵バスも運行せざる状態にして、29日の出發も一時危ぶまれたるも、天は此の愛路大會に幸を惠み給ひて28日曇天、29日は一點の雲形も無き本當の晴天となつた。

午前7時克山縣公署に坂上技監閣下、島崎北安省次長閣下を始め省滿鐵愛路功勞者等50數名參集した、此の時克山縣公署全職員は縣公署前に整列して、技監閣下を出迎へた、早朝のことゝ縣當局の御骨折も仲々の事だつたと思ふ、縣廳舎の廣場に視察者全員整列して本日の出發式が舉行された、式は國民儀禮に始まり北安省、濱江省、克山縣より夫々情況報告があり、萬歳を三唱して出發決定時刻を遅ること20分、即ち7時50分に3台の滿鐵バスに分乗して克山縣公署前を出發した。

沿道には愛路團員多數の出迎へあり、愛路團旗、協和會旗が朝風を靜かにうけて靡へり本日の催しを喜ぶくかの儀に思はれた、バスは速度をゆるめて徐行した、坂上技監閣下、島崎次長閣下始め1同車上より擧手の禮をされた、道路は連日の降雨にてバス運行を氣使はれて居た

が昨日來よりの天候と愛路團員の熱意ある努力にて呼爾河附近の濕地帯も思つたより路面状態良好にして探すれば先づ80點位と思はれ、自動車も大したる動搖な前進し濕地帯を過ぎれば北安省の誇る大沃野に入つた、車窓よりの眺望は誠に廣く文字通り滿州の大穀倉地帯あることは充分頷かれるのである、一面の曠物の波である、土地は耕作に程よい位の起伏をして大きな稜りを立て居るので丁度大海原を見て居る様である、此の邊り路面平直にしてバスの運行も氣持よい位に走る、沿道は愛路團員の眞面目な作業が續けられて居る、自動車グングン走る、克山縣と拜泉縣の縣境に標識がある、1定より早く着いたので車を止めて小休止する、技監閣下を始め一同下車する、道路の兩側には時ならぬ砲列の敷を敷て思ひ思ひの放水が始まつた、來年は此の邊りは刈度體作になるだらうと思ふ、合圖によつて一同再び車の人となる、縣境より井上克山副縣長と橋本拜泉副縣長と交代して技監閣下に説明して行く、縣境よりは急に路面状態よくなり、尙耳芝井然として一目にして縣境が變る、探點すれば百點位と思はれる、鏡の面を走るが如く少しの動搖もない、少し位路面の悪い方が動搖があつて面白いのにと思へるのに憎らしい程路面が良い、車は金の波と云ひ度い所だが周圍は高粱と包米のみであるので黄金の波とは云へないが實に見事な穀類の稔の波を見ながら車はグングン前進又前進する、拜泉縣の愛路團員は分散して作業中の者もあり、又集合して迎送する者もある、副縣長は車窓より首を出して心からなる「謝々」の感謝の言葉を投げかける、團員は副縣長を見て心からの微笑を浮べて敬禮する、極く短時間の出來事であるが官民一致の表現である此の意氣あつてこそ何千萬噸の出荷も容易に出来るのであつて政治家は斯くあるべき

のと思はれる、否日系は滿洲の指導民族である以上他民族に融合して民心を把握し、總ての政治を行ふべきである、備本副縣長は誠に名大官であると思つた、此の美しい風景を涙なくして見られない、此の情景の美しさと路面が餘りに良いので車は滑るが如くに走るので、技監閣下始め車中の半数の人達は瞋目して無我の境をさまよつて居られた様であつた、車はエンジンの調子も良く、グングン走つて拜泉縣城に達した、豫定より40分位早く着いたのである、一同下車した、城内には無量3千名位の人達が整列して技監閣下を出迎へた、家毎に國旗を掲揚して居る、服裝を整然として大拜泉縣の面目を醜如たらしめた、技監閣下は長い長い出迎への人々に對して擧手の禮をして通られる、樂器の響亮たる音に合せて足取りもいと軽く進行される、隨員其他技監閣下に續いて進行する、漸くにして縣公署に到着した、時間の餘裕があるので充分なる休憩の後副縣長より管内狀況報告があり特に同縣に於ける環狀道路の必要を説く道路が同縣唯一の交通機關であり尙政治の根本である旨を熱意を以て述べらる、それより中食となつた、田舎の事とて何も無いがと言つて出された支那料理の美味しいこと、或る人の話に支那料理も随分食べたが、こんなに美味しい料理は始めてであるとの話聲が聞へた、それから又饅頭の色の白いこと、味のよいこと異口同音に此れは見事見事と言つてバツツいた。

正12時豫定通り拜泉縣城を出發した、道路は益々良好である、天氣は日本晴れの好天氣、御覽は満腹と云ふ體に沈思黙考するに條件が具備して居るので車中の大部分は話す人もなく、禪堂で坐禪でもして居るかの様な静かさである、エンジンは調子良く週期的な心地よき微かな音を發して居る、丁度子守唄でももあるかの様な具合に聞へる、車中の人皆童心に歸へつて居る様である、縣城より28軒を走つた時、此の静まりを敗つて俄かに大きな聲がした、見れば明水の登張副縣長である、此れより明水縣に入りませ技監閣下よく見て下さいとの聲である一同我れに歸へる、副縣長の話によれば道路の兩側に並木があるのと、道路面が良いのが拜泉縣と違ふ所であるとの事である、成る程並木もあり路面も良く耳芝も拜

泉縣と同様整然として居る、其の上路面を帯で描いた様に奇麗である、成る程副縣長自慢丈けの道路である、車は益々グングン前進する、登張副縣長も拜泉と同様愛路團員に「謝々」の謝辭を車上より述べる、登張副縣長は昇降口の扉を開けて全身を露け出して心底からの「謝々」を言ふ、團員は誠に嬉し相な顔をして敬福する、此れ又官民協力一致融合の美しき情景である、愛路を通しての民心把握であり、政治の徹底である、此處に又拜泉副縣長に優るとも劣らない名大官を隨認して心強く思つた次第である、車はグングン前進して行く、前進して行く路面もエンジンも上々の好調である、團員の熱心な作業やニコやかな童顔を見て進む、此の邊り又克山拜泉に優る穀物の波である、豐年を祝願しつゝ明水縣城へ到着する縣公署職員を始め縣民の熱意ある出迎へを受け響亮たる音樂の音に合せて見取りも軽やかに技監閣下を先頭に一同進行する、縣長室に至りて小休止、満載よりの申出に濱江省の路面の都合にて或は返す事になるやも計り知れず依つて明水を早く出發して頂き度との事にて早速副縣長の管内狀況報告に移り、交通機關の重要を強調して縣當局の決意を披瀝して愛路徹底を期する旨の話があり當縣自慢の鶏卵の接待をうけ14時50分出發す。

濱江省の都合により通過路線の一部變更となる、路面誠に良く整備され垣々たる道路を進行する、例に依つて登張副縣長の熱誠なる「謝々」の聲心底より奔り出で團員に深き感動を興へつゝ吾々の車は濱江省へ向つて進進する、明水縣城より16軒700にして北安濱江省境に達す如境は一目にして判明するものあり即ち北安省明水縣内は路面良好にして耳芝あり兩側に並木ありて日本の道路に髣髴たるものあり、然るに濱江省の方は路面稍々良好にして耳芝並木なく兩省の境界を明確ならしむ、此の時車中に北安省が勝つた、絶對優秀であるとの聲を聞く自動車は多少振動し始めた、然し運轉手は齊々哈爾濱道局撰拔の優秀なる者にしてグングン目的地青岡に向つて進進又進進す、突然車中に爆笑を生ず、窓外を見れば一愛路團員がスコップを擡げ銃の格好して立つて居る、其他の團員は自動車に背を向けて警護でもするかの如き姿勢で居る、車は速度を早め18時頃夕暗迫る中を漸く青岡の

縣城近くに達した、此の附近は降雨のため路面稍々泥濘にして車輪滑つて多少危険なり、車は速度を落して徐行するも危険なり、漸くにして縣城内に入る、青岡縣公署職員の出迎へを受けて縣長室に入る、中島濱江省次長閣下も幸に来て居られた、夕霽の中にて青岡縣の情況報告があり1時も過ぎた頃颯爽と縣長室へ入つて来た快男子あり、夕霽を透して見れば町田道路司長閣下と黒田濱江省建設廳長閣下其他の一行であつた、是れで本大會の立役者全部の勢揃が出来た次第である、青岡縣當局の斡旋にて夫々宿舎に入つた、丁度小鳥が時に歸へる時の様な賑かさである、各室で思ひ思ひの話が始まつた、小鳥の轉る様である、次は小鳥の轉るの一節である。

「坂上技監閣下もあんなに擧手の禮ばかりして居られたら肩が痛いだらう」との話が出た、丁度其の時廊下から大鳥一羽舞ひ込んで来て「明日は肇東で500米位の出迎への列で技監の肩を痛めてやらうとの話し」大鳥の羽撃きに小鳥共は團に巻かれて只啞然、2時半となり本日の200軒の走競を無事終へて氣も軽く、明日の天候を祈りつゝ寢に就いた。

翌30日は前日に優る日本晴である、出發は自動車の都合にて30分位遅れて9時に出發した、昨日の自動車は齊々哈爾濱道局撰定の優秀車と運轉手である、今日のは哈爾濱鐵道局のものである、車内の掃除も齊々哈爾濱のもの程でない、昨日は發車の合圖があつて一寸間を置いてスタートして居たので乗客に充分の注意を與へる餘裕があつたが、今日の哈爾濱のは發車の合圖と同時にグツ！動くので未だ席に着いて居ない人は倒れそうになる、大分運轉の様子が違ふ、此の調子ではと思つて居たら3台の中1台が、とうとう故障を起した、然し小1時間もしたら

修理も出来て幸ひであつた、關西縣公署で勢揃して3台のバスは動き出した、途中早期出荷の大事郡と行違つた、大車は仲々の難行で麻袋2、3袋を積んで居る、早く全部の道路に切めて砂利位なりと充分敷込めたらとつくづく思つた、車はどンドン走つて行く、車中は詰詰の状態である、行く事暫くにして鐵道線路が見へた、驛も見へた、これが最終點の肇東である、肇東の市街は相當大きい、車が急に停つた、小野副縣長の先導で坂上技監閣下、町田道路司長閣下、中島次長閣下、島崎次長閣下、黒田建設廳長閣下其他の視察者1行は昨夜の話通り500米の出迎への列と賑かな音樂の音とに迎へられて本大會最終の緊張さと名残惜しさを以て一種の莊嚴さへ感ぜられるかの如き氣持にて縣長室へ行つた、肇東15時頃の列車にて哈爾濱へ向ふ、哈爾濱驛前に用意された自動車に分乘して、愛路功勞者表彰式場たる滿鐵更生會館に至る、表彰式は國民儀禮に始まり谷交通部大臣閣下より各愛路團員及愛路團へ夫々表彰狀及賞品を授與され各團員の顔は喜びに充ち満ちて無上の光榮さを漲らし今後益々愛路の爲、大にしては國家の爲悉々獻身努力するの誓を樹て、謝辭を述ぶ。

誠に誠に本大會は充分なる成果を納めたり、願はくば、今後毎年各省に本大會を催されて愛路の徹底と愛國精神函養に資せられんことを切望す、終りに臨んで交通部及關係兩省各位の御苦心に對し多謝する次第なり。

路よくて 童心並ぶ バスの内
副縣長 今日の道はと 日本晴れ
轉しげに 又來る年もと 功勞者

以 上